

1. 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。
注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

危険 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が迫して生じる場合が想定される」内容を示します。

警告 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

注意 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

「一般的な禁止」事項を示しています。

「分解禁止」事項を示しています。

「水ぬれ禁止」事項を示しています。

「必ず行う」事項を示しています。

4. 免責事項

つぎのような場合には、保証期間内でも点検・修理は有料になります。
(1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造、分解による故障および損傷。
(2) 取り付け後の取付場所の移動、落などによる故障および損傷。
(3) 火災、塗装、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性などの有害ガス、ホコリ、異常電圧、異常電磁波、ねずみ、鳥、くも、昆虫類などの侵入およびその他天変地異または戦争、暴動など破壊行為による故障および損傷。
(4) 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
(5) 音、振動、装着の退色、メキシの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲外の外観上の現象。
(6) 取扱説明書および取扱説明書などに指示する方法以外の工事設計、取付工事、取りかかが原因で生じた工具、故障および損傷。
(7) 一般家庭用以外(例えば、業務用、工業用)でご使用になられた場合。
(8) 過度な頻度で警報器を点検したことにより電池が消耗した場合。
(9) 取付場所が不適切で、調理の煙や湯気、ホコリなど、住宅環境による警報発生により電池が消耗した場合。
(10) 警報器に障害、異常が認められない場合。
(11) 本保証書および「警報器登録票」または「リース契約書」のご提示がない場合。
(12) 「警報器登録票」または「リース契約書」にお取り付け年月、販売店(リース取扱店)名の記入がない場合、あるいは販売店(リース取扱店)の訂正印なし、字句を書き換えた場合。
(13) 使用場所が当社のガス供給区域外の場合。(出張料を別途頂きます)

5. お客さまへ

(1) アフターサービスについてご不明な場合は、販売店(リース取扱店)もしくは最寄りの大阪ガスお客さまセンターへお問い合わせください。
(2) 「警報器登録票」または「リース契約書」に販売店(リース取扱店)名のない警報器については無効となります。購入時にご確認ください。
(3) 本保証書および「警報器登録票」または「リース契約書」は再発行いたしません。紛失しないよう大切に保管してください。
(4) ご転居の場合はご贈答品などで、「警報器登録票」または「リース契約書」に記載している販売店(リース取扱店)に点検・修理がご依頼できない場合は、最寄りの大阪ガスお客さまセンターへご連絡ください。
(5) 保証期間内に無料修理した場合であっても、保証期間は当初の保証期間となります。
(6) 修理ができないと判断した場合は、無料交換させていただくことがあります。
(7) 本保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
(8) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

6. 保証者

住所 大阪市中央区平野町4-1-2
Tel フリーダイヤル 0120-0-94817 (お客さまセンター)
会社名 大阪ガス株式会社

2. 使用上のご注意

△危険

火災の警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。

火元を確認し、消火
必ず行う

消火が不可能なときは、避難してください。
必ず行う



△警告

分解や改造はしないでください。

故障の原因となります。

警報器を落とさないなど、衝撃を与えないでください。

故障の原因となります。

警報器の取り付け、取り外し、定期点検、異常時の点検・処置などを行うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。

転落・転倒・落下によるケガのおそれがあります。

ライターの炎やタバコの煙などを使って、点検を行わないでください。

火災や故障の原因となります。

△注意

取付位置を移動させないでください。

警報の遅れの原因となります。
取付位置を変える必要が生じたときは、販売店(リース取扱店)にご相談ください。

警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。

警報の遅れの原因となります。

警報器に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。

聴力障害などの原因になるおそれがあります。

引きひもを引いて火災警報音を止めるとき、および定期点検をするときは、強く引いたり、ぶら下がったりしないでください。

警報器の落下や、ひも切れまたはひもが外れるおそれがあります。

警報器を水につけたり、水をかけたりしないでください。

故障の原因となります。

専用リチウム電池のコネクタは確実に差し込んでください。

差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあります。

お客さまご自身で専用リチウム電池を交換しないでください。

故障の原因になります。

電池切れの場合は、販売店(リース取扱店)までご連絡ください。

- この警報器は煙を感じて警報しますが、次のような場合は煙を感じきれないことがあります。また、室内の空気の流れなどにより、煙感知部に煙が到達しなければ警報しません。
 - 火のまわりの早い火災
 - 爆発的な火災
 - 電気火災、薬品火災
 - 煙の発生が少ない火災

- この警報器は、火災で発生する煙以外の事象(熱、可燃性ガスの発生、一酸化炭素ガスの発生)は検知できません(ガスもれ、不完全燃焼を検知する機能はありません)。

- 日頃、人がいない部屋に取り付ける場合は、あらかじめ警報音が聞こえることを確認してください。

- 次のような場合は警報音が聞こえないことがあります。
 - 疲労、風邪などの服用、飲酒などによる、眠りの深い就寝中
 - 警報器設置場所と人のいる場所の間に音の障害(扉など)がある場合
 - 周囲の騒音(交通、オーディオ、エアコンなど)が大きい場合
 - その他、聴力が弱くなっている場合など

- この警報器は、消防法で定められた自動火災報知設備には該当しないため、それらの用途には使用できません。

- 使用温度範囲外での使用や、ホコリなどが多い場所に取り付けたとき、頻繁に点検された場合、長時間音声警報を鳴らされた場合などは電池消耗が早くなり、交換期限前に電池切れ警報する場合があります。

3. 各部のなまえとはたらき

●スピーカー
警報音が鳴ります。

●交換期限
警報器の交換期限が表示されています。

●煙感知部
煙を感じます。
火災などにより、警報器周囲の煙が一定濃度になると、警報を発します。

●ランプ
火災による煙を感じると、ランプが点滅します。
電池切れや故障しているときは、ランプが10秒おきに1回または3回点滅します。

●スイッチ
警報音を停止させたり、定期点検をするときに使用します。

●電池収納部
付属の専用リチウム電池を取り付け、収納します。
※専用リチウム電池の取り付け方法は、取扱説明書を参照してください。

●空気の流れが激しい場所。
・換気扇や扇風機の近く。
・すさまよ風の強い場所。

●ホコリや虫の多い場所。

●温度が0~+40°Cの範囲をこえる場所。

●火災以外の煙や蒸気がかかる場所、車庫など。

●カーテンウォールなどで仕切られた場所。

●屋外。
屋内専用です。

- この警報器は、以下のような場所への設置をおすすめします。
居室、寝室、階段、廊下

- 台所には、火災、ガスもれ、不完全燃焼の3つが検知できる
「火災・ガス警報器びこびこ」をお使いください。

4. 取付位置について

- この警報器は、以下のような場所への設置をおすすめします。
居室、寝室、階段、廊下

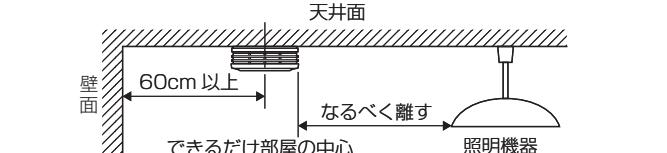
- 台所には、火災、ガスもれ、不完全燃焼の3つが検知できる
「火災・ガス警報器びこびこ」をお使いください。

- 設置および維持基準は、政省令で定める基準にしたがい、市町村条例で定められています。各市町村によって設置場所が異なる場合がありますので、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。

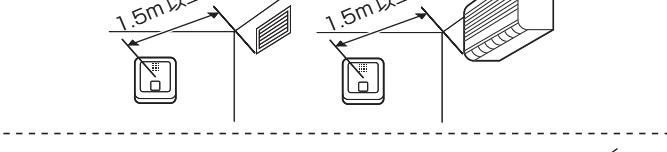
- 警報器のスイッチ(点検、警報音停止兼用)が操作しやすい位置に取り付けてください。

- 壁面に取り付ける場合は、警報器の中心が天井面下15cmから50cmまでの範囲にくるように取り付けてください。

- 天井面に取り付ける場合は、壁や天井から60cm以上離した位置に取り付けてください。



- 換気口など、空気の吹出口から1.5m以上離してください。



- 壁面に取り付ける場合は、できるかぎりたれ壁や天井から60cm以上離してください。



取り付けてはいけない場所について

以下の場所には、警報器を取り付けてはいけません。
誤作動や故障、または警報が遅れる原因となります。

- 浴室内、水のかかる場所、
水滴がつく場所。
感電や電気的故障の原因になります。

- ホコリや虫の多い場所。

- 温度が0~+40°Cの範囲をこえる場所。

- 火災以外の煙や蒸気がかかる場所、車庫など。

- カーテンウォールなどで仕切られた場所。

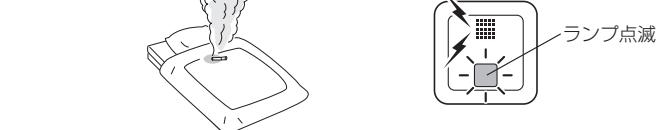
- 屋外。
屋内専用です。

5. お知らせ機能について

火災による煙が発生したときは

警報器周囲の煙が一定濃度になると、ランプが点滅し、「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」と警報します。

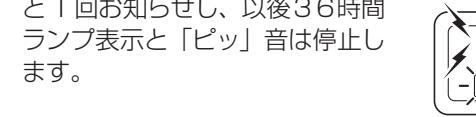
「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」



電池切れのときは

電池の電圧が低下すると、ランプが10秒おきに1回点滅し、「ピッ 電池切れです」と1回お知らせした後、約1分おきに「ピッ」音が鳴ります。

スイッチを押すと、ランプが1回点滅し、「ピッ 電池切れです」と1回お知らせし、以後36時間ランプ表示と「ピッ」音は停止します。



故障しているときは

故障していると、ランプが10秒おきに3回点滅し、「ピッピッピッ 故障です」と1分おきに「ピッピッピッ」音が鳴ります。

スイッチを押すと、「ピッピッピッ 故障です」と1分おきに3回点滅します。

※電池切れ警報中または故障警報中であっても、煙を感じた場合、火災警報が可能であれば火災警報を発します。

※36時間の停止中にスイッチを押すと、お知らせの音声を発しますが36時間のタイマーはリセットされません。

※36時間を経過すると、再度ランプが点滅し「ピッ」音(または「ピッピッピッ」音)が鳴ります。

警報音を止めたいとき

スイッチを押してください。
(約1秒)

引きひもがあるときは、引きひもを引いてください。
(約1秒)

約5分間警報音が止まり、ランプが消灯します。

警報音が鳴った原因について

火災以外でも次のような場合には、火災警報動作をすることあります。

- スプレー式殺虫剤、ヘアースプレーが警報器に直接かかったとき。

- タバコの煙が警報器に吹きかけたとき。

- 調理の煙や水蒸気などが警報器にかかったとき。

- くん煙式殺虫剤などの煙殺虫剤を使用したとき。

- 湯気が直接かかったとき。

- 警報器が結露したとき。

- 砂、ホコリ、虫などが警報器の煙感知部に入ったとき。

6. 警報音が鳴ったときの処置のしかた

1 「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」と鳴ったときの処置のしかた
火元を確認し、119番へ通報するなどの適切な処置をしてください。
119番への通報

7. 定期点検

正常に動作することを確認するために、1ヶ月に1回程度定期点検を行ってください。
(1週間以上留守にされた場合も点検を行ってください。留守中の電池切れ警報を、確認できないおそれがあります。)

動作機能を確認する

1 警報器が警報動作中や警報音停止中でないことを確認する。

【テスト機能を使って確認する】

- 2 スイッチを押す(約1秒)、または引きひもを引く(約1秒)。
●「ピッ 正常です」が1回鳴り、ランプが1回点滅すれば正常です。
●10日以内に火災警報または電池切れ・障害があった場合は、履歴を表示します。(5.お知らせ機能について)参照

【警報音を鳴らして確認する】

- 2 スイッチを約3秒間長押しする。または引きひもを約3秒間引く。
●火災警報音「ウーカンカンカン 火事です 火事です」が鳴り、ランプが点滅すれば正常です。

◆下記の異常などがないか確認できます。

●煙感知部の異常 ●電源異常

〈正常に動作しない場合は〉

動作確認をしても警報音が鳴らないなどの異常があった場合は、「11.異常時の点検・処置」を参照してください。

【故障状態では煙を感知できず、火災警報動作をしない場合があります。】

8. お手入れのしかた

警報器側面のスリット(煙感知部)にホコリやくもの巣がつくと、正しく警報しない場合があります。警報器がより良い状態で動作するようにお手入れをおすすめします。

1 警報器を取り外す。

(「9.警報器の取り外し・取り付けかた」参照)

2 警報器および取付部付近の壁面または天井面の汚れをふき取る。

布を水または石けん水に浸し、よく絞ってからふき取ってください。

3 本体の表面がよく乾いてから取り付ける。

(「9.警報器の取り外し・取り付けかた」参照)

4 本体を取り付けてから、正常に動作することを確認する。(「7.定期点検」参照)

警報器取付部付近の壁や天井面を掃除するときは、本体を取りはずしてから行ってください。

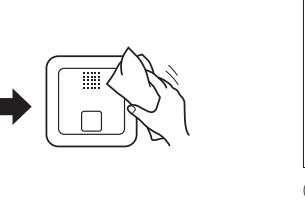
おねがい

●お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。

●お手入れするときは、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジンシンナー、アルコールは使わないでください。

アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面を傷めることができます。

●お手入れ後、警報器側面のスリット(煙感知部)に異物(糸くず、水など)が残っていないか確認してください。



水または石けん水

布を水または石けん水に浸し、よく絞ってからふき取ってください。

●お手入れするときは、警報器の取り外し・取り付けかた

【参考】

警報器の取り外し・取り付けかた

【参考】

警報器の取り外し・取り付けかた